

一般財団法人 Ruby アソシエーション

2012 年度 第 1 回通常評議員会 議事録

- 1 開催場所：神保町三井ビルディング 17 階 会議室
- 2 開催日時：2012 年 6 月 27 日（水）14:00 ～16:00
- 3 評議員現在数及び定足数：現在数 13 名、定足数 7 名
- 4 出席評議員数：10 名
（本人出席）及川喜之、後藤裕蔵、柴田直樹、正村勉、立久井正和、中島宏
羽田昭裕、平松知江子、吉田正敏
（テレビ会議出席）森正弥
（欠席）大場寧子、最首英裕、吉岡宏
- 5 出席理事：松本行弘理事長、前田修吾副理事長、井上浩理事
- 6 事務局：横田早百合、杉原健司（支援スタッフ）、福田一斎（支援スタッフ）
- 7 オブザーバ出席：田代秀一氏、高橋征義、角谷信太郎、松本新吾氏
- 8 議案
【第 1 号議案】2011 年度事業報告案について
【第 2 号議案】2011 年度決算（貸借対照表及び正味財産増減計算書）案について
【第 3 号議案】監査報告について
協議事項
（1）予算補正について
（2）助成事業について
（3）安定版保守委託事業について
（4）事業認定制度について
（5）公益認定申請について
（6）ビジネスセミナーの開催について
- 9 会議の概要
 - （1）議長の選任と定足数の確認
 - ・ 事務局より出席の評議員から選出することを説明。
 - ・ 評議員から事務局一任との意見があり、事務局より及川評議員を推薦。
 - ・ 出席評議員からは異議なく、及川評議員も承諾された為、及川評議員を議長に選任。
 - （2）松本理事長あいさつ
 - ・ この一年は、Ruby アソシエーションは財団法人になり、Ruby も国際規格に承認されるなど、様々な動きがある大きな一年だった。
 - ・ こうした動きが止まるのではなく、継続させることが大切。
 - ・ mruby では福岡で NPO 設立の動きもある。こうした動きとも連携していく。
 - ・ やはり本流の CRuby をのぼして改善していく。Web が主戦場であることは変わらない。
 - ・ 来年 2 月には Ruby 誕生 20 周年のイベントを Ruby の会と連携して行う予定。
 - ・ Ruby の裾野を広げていくので、これからも評議員の皆さんには変わらぬ協力をお願いしたい。

- ・今年で4回目となる RubyWorld Conference は、マンネリ化しないことをキーワードに取り組む。

(3) 議案

1) 第1号議案：2011年度事業報告案について

- ・前田副理事長が別添資料 No1 にて説明。

2) 第2号議案：2011年度決算案について

- ・横田事務局員が別添資料 No2 にて説明。

3) 第3号議案：監査報告について

- ・欠席の今岡監事に代わり福田支援スタッフが別添資料 No3 にて説明。

4) 質疑応答

吉田評議員：①2011年度の事業報告書について、日本オープンソース推進フォーラムとの連携について触れてあるとよい。②2011年度決算の設立支援金に関して、その内訳は開示されないのか。

杉原支援スタッフ：①については、同フォーラムとは2011年度に連携について話し合いを進め、具体的には今年度からの取り組みを予定。従って、2012年度事業計画書（公開済）には、同フォーラムとの連携に関して触れている。

横田事務局員：②については、内訳は非公開としている。

杉原支援スタッフ：補足になるが、設立支援金のお願いの時点で各社には非公開を前提としていた為。なお、今年度より開始した協賛会員制度は、協賛区分ごとに会員を公開することでその内訳を公開している。

5) 審議結果

以上の3議案について、全会一致で原案のとおり可決した。

(4) 協議事項

1) 予算補正について

- ・横田事務局員が別添資料 No4 にて説明。

2) 助成事業について

- ・前田副理事長が別添資料 No5 にて説明。

3) 安定版保守委託事業について

- ・前田副理事長が別添資料 No6 にて説明。

4) 事業認定制度について

- ・前田副理事長が別添資料 No7 にて説明。

5) 質疑応答

中島評議員：Ruby 安定版の保守について、自社も Ruby Ver1. 8. 7 の資産が膨大であり、来年6月でセキュリティサポートが終了されると聞き不安。財団として、この点をどう考えているのか。

前田副理事長：Ver1. 8. 7 はト部氏が今年度も引き続きメンテナンスされる見込み。その後も必要だとの声が多ければ財団として検討したい。Ver1. 9. 3 は、現在は成瀬氏がサポートしている。

吉田評議員：助成事業の公募範囲は、グローバルか？海外への展開も考えた方がよい。

前田副理事長：昨年度の募集では海外も含めて実施した。但し、応募時の言語は、財団側に中国語などを理解できる者がいないので、日本語と英語に限定している。また、協賛会費についても海外を視野に入れているが、現時点ではオペレーションできる体制ではない。

田代センター長：IPA では、ISO の修正版を JIS に落とし込む作業を進めているが、今回の作業でバッチは終わる。財団を設立する時、標準化の意義を理解されていたと思う。新しいバージョンに対する動きを財団に期待している。

IPA は標準化の進め方など専門家としての助言などで支援できる。文書作成は、自主的にやってもらいたい。一度規格は出来ているので、後は、それほどコストは掛らない。要はやる気だ。標準化は、その結果がどうビジネスに貢献できるのかを考える必要がある。

正村評議員：標準化の文書作成は、財団の助成事業の対象か。

松本理事長：対象にはなるが、助成事業の予算 100 万円では出来ない。標準化のための財政支援を考えたいが財団には余裕はない。また、財団の実施事業の中でも優先順は高くない。財源を水面下で探している。いずれにせよ標準規格を維持しないとイケない。

正村評議員：財団として財源を探している、と理解していいのか。

松本理事長：そのとおりである。

田代センター長：いずれにせよ、何も考えていないのはいけない。

松本理事長：これまでは IPA に全面的に依存していた。今後についてはそうはいかないことは我々も認識している。標準化のメンテナーとして、財団がリーダーシップを取るつもりはある。

田代センター長：規格承認のプロセスで Fast Track を使うと、事実上、そこで仕様が決まる。仕様決定のイニシアティブを握ることが重要。

正村評議員：認定事業の Gold と Silver の登録料は同じか。

前田副理事長：同じ。Silver 認定も Gold と Silver の登録料は同じ 5 万円。当初それぞれの額を変える考えもあったが、Ruby 利用の裾野を拡げる視点から同じ額にした。

6) 公益認定申請について

- ・杉原支援スタッフが説明。今年 10 月に公益認定申請を、来年 4 月に公益財団化を目指し、取り組みを進める。理事の改選も必要となる。詳細は、9 月頃にあらためて臨時評議員会で諮る。その準備に向けて今岡監事の指導を仰ぐ。

7) ビジネスセミナーの開催について

- ・杉原支援スタッフが別添資料 No8 にて説明。

10 その他

(1) RubyWorld Conference 2012 について

- ・RubyWorld Conference 開催実行委員会の事務局 江角氏が説明。開催案内(今年 11 月 8 日、9 日に島根県松江市にて開催)、発表者及び一般参加者の募集について、協賛金のお願いについて。

(2) Ruby20 周年イベントについて

- ・福田支援スタッフが説明。来年 2 月 23 日(土)に開催を予定。会場は、楽天 森評議員に相談中。内容はこれから検討。
- ・高橋氏：内容に関して、自分たちがこれをやりたい、又は提案があれば言って欲しい。
- ・角谷氏：イベントの開催頃を目指して Ruby2.0 の開発が進んでいる。従って、開発に関わる人たちは開発に専念し、20 周年を祝う側の人たちが内容を考えるようにしたい。

(3) 「OSS 評価情報リポジトリ、RepOSS (リポス) の公開」について

- ・平松評議員が説明。日本 OSS 推進フォーラムが、今年 5 月にオープンソースソフトウェア (OSS) 評価情報サイト「RepOSS」を公開。RepOSS は、OSS の普及度や品質などのデータを収集したサイトで、現在、約 250 種の OSS の情報を掲載。日本、中国、韓国の 3 カ国が共同で開発。RepOSS は、各 OSS の品質 (バグ数、バグ修正率、平均バグ修正時間)、普及度 (ダウンロード数、マニュアルの有無、関連書籍数)、ビジネス (他のソフトでの利用、ベンダーによるサポートサービス)、事例などを、インターネット上で公開されている情報から収集して記録。そのほか、ライセンスやリリース情報など、項目数は 100 以上。

(4) その他、意見交換

- ・ 杉原支援スタッフ：補正予算書の補足。今期同様の事業を継続するためには、来期は協賛会員数を Platinum で 14(現在 9)、Gold で 22(同 14)、Silver で 42(同 26)にする必要がある。評議員の皆様にも引き続き協力をお願いしたい。
- ・ 田代センター長：Ruby2.0 が来年 2 月に公開であれば、標準規格のメンテナンスの実作業は未だ先のことになるだろう。それまでに先ずは製品のロードマップみたいなものが必要になるだろう。
- ・ 及川議長：標準規格の維持には、ロードマップを意識したコミュニティ、というかコミッティが必要だと思う。
- ・ 井上理事：次回、RA の公益認定申請及びそのための理事改選について、また、その後の実施事業などを協議いただくため、9 月中旬頃に臨時評議員会を開催したい。早めに日程の調整を行うので、宜しくをお願いしたい。

以上をもって協議を終了したので、議長閉会を宣し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は記名押印する。

平成 24 年 6 月 27 日

議長 及川 喜之



議事録署名人 平松 知江子



議事録署名人 後藤 裕蔵



本議事録の作成にかかわる職務を行ったものの氏名

一般財団法人 Ruby アソシエーション 副理事長 前田修吾

決 算 報 告 書

(第 1 期)

自 2011年 7月27日
至 2012年 3月31日

一般財団法人Rubyアソシエーション

貸借対照表

2012年 3月31日現在

(2011年度 第1期)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,181,270		6,181,270
未収金	13,336,800		13,336,800
流動資産合計	19,518,070		19,518,070
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	3,000,000		3,000,000
基本財産合計	3,000,000		3,000,000
固定資産合計	3,000,000		3,000,000
資産合計	22,518,070		22,518,070
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	14,485,414		14,485,414
前受金	2,000,000		2,000,000
預り金	35,937		35,937
流動負債合計	16,521,351		16,521,351
2. 固定負債			
固定負債合計	0		0
負債合計	16,521,351		16,521,351
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	3,000,000		3,000,000
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	()	(3,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	()	(0)
2. 一般正味財産	2,996,719		2,996,719
(うち基本財産への充当額)	(0)	()	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	()	(0)
正味財産合計	5,996,719		5,996,719
負債及び正味財産合計	22,518,070		22,518,070

正味財産増減計算書

2011年 7月27日から2012年 3月31日まで

(2011年度 第1期)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	258		258
事業収益	913,500		913,500
受取補助金	13,236,000		13,236,000
受取寄付金	7,401,919		7,401,919
受取利息	381		381
雑収益	100,800		100,800
経常収益計	21,652,858		21,652,858
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	982,836		982,836
法定福利費	67,562		67,562
会議費	48,970		48,970
旅費交通費	149,680		149,680
通信費	36,373		36,373
消耗品費	253,800		253,800
水道光熱費	881		881
支払手数料	3,202		3,202
賃借料	21,542		21,542
租税公課	200		200
支払助成金	1,006,722		1,006,722
委託費	14,268,706		14,268,706
管理費			
役員報酬	800,000		800,000
給与手当	308,772		308,772
法定福利費	67,561		67,561
広告宣伝費	45,000		45,000
会議費	36,968		36,968
旅費交通費	23,100		23,100
通信費	33,892		33,892
消耗品費	108,770		108,770
水道光熱費	881		881
諸会費	2,572		2,572
支払手数料	228,058		228,058
賃借料	21,541		21,541
租税公課	123,550		123,550
委託費	15,000		15,000
経常費用計	18,656,139		18,656,139
当期経常増減額	2,996,719		2,996,719

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0		0
(2) 経常外費用	0		0
当期経常外増減額	0		0
当期一般正味財産増減額	2,996,719		2,996,719
一般正味財産期首残高	0		0
一般正味財産期末残高	2,996,719		2,996,719
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		0
指定正味財産期首残高	3,000,000		3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000		3,000,000
III 正味財産期末残高	5,996,719		5,996,719

財 産 目 録

2012年 3月31日現在

(2011年度 第1期)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	1,422
預金	普通預金 山陰合同銀行松江駅前支店	運転資金として	6,179,848
未収金		補助金収入の未収分他	13,336,800
流動資産合計			19,518,070
(固定資産)			
基本財産 普通預金	普通預金 山陰合同銀行松江駅前支店	運用益を事業の財源として	3,000,000
固定資産合計			3,000,000
資産合計			22,518,070
(流動負債)			
未払金		委託費の未払分	13,036,256
		助成金の未払分	1,006,722
		その他事業費及び管理費の未払分	442,436
前受金		協賛金の前受分	2,000,000
預り金		源泉所得税の預り分	35,937
流動負債合計			16,521,351
(固定負債)			0
固定負債合計			0
負債合計			16,521,351
正味財産			5,996,719

2011 年度（第 1 事業年度）

「事業報告書」

2011 年 7 月 27 日から

2012 年 3 月 31 日まで

一般財団法人 Ruby アソシエーション

「2011年度事業報告」目次

1	設立の背景	2
2	財団設立	
	1) 名称	2
	2) 設立登記日	2
	3) 主たる事務所	2
	4) 設立者（出資者）	2
3	体制	
	1) 評議員	3
	2) 理事、監事、顧問及び事務局	3
	3) 評議員選定委員会	3
4	事業運営資金	3
5	その他、事業運営支援	
	1) 松江市：利用施設の整備・利用支援	4
	2) 島根県：情報発信事業での財政支援	4
6	実施事業	
	1) 公募型開発プロジェクト	4
	(1) 世界の誰でも読める Ruby リファレンスマニュアル（に向けて）	4
	(2) krypt	4
	2) 情報発信事業	
	(1) 基本計画の作成、及びその公開	5
	(2) 財団ホームページを活用した情報発信	
	①利用事例	5
	②技術情報	6
	(3) ビジネスセミナーの開催	
	①東京でのビジネスセミナーの開催	6
	②そのほか、ビジネスフォーラム開催の協力	6
	(4) 国際会議（RubyWorld Conference 2011）の開催	6
7	協賛会員制度の検討と募集開始	7

1 設立の背景

プログラミング言語 Ruby は、その利用者が世界中に広がり、主要なプログラミング言語のひとつとしての地位を確立しました。2011年3月には日本工業規格(JIS) JIS X 3017 が策定され、2012年春には国際標準規格 (ISO) に承認されました。

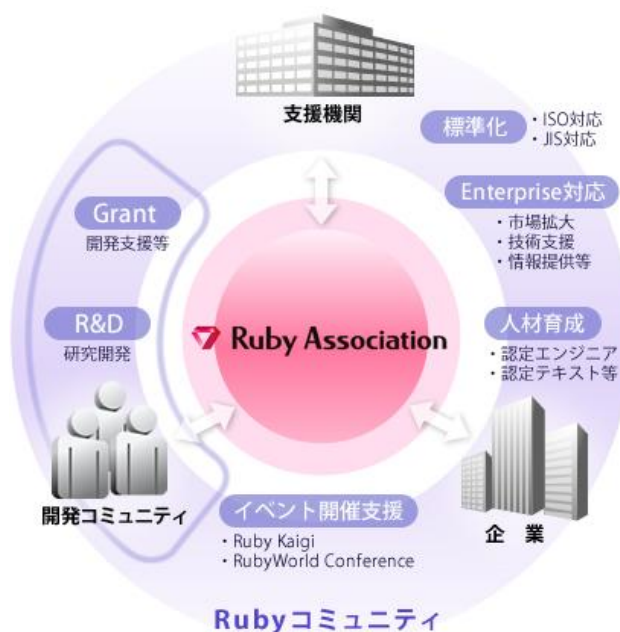
このように世界に広がりつつある Ruby の普及と発展のため、2007年7月に設立した合同会社 Ruby アソシエーションでは、Ruby 技術者認定試験制度、Ruby アソシエーション認定システムインテグレータプログラム認定制度及び RubyWorld Conference の開催等を関係企業、諸機関の支援のもと実施してきました。

IT があらゆる産業の基盤技術となり、その中でも Ruby に対する注目度が増している中で、ビジネス分野からの Ruby アソシエーションに対する期待も大きくなってきました。しかしながら、従来の合同会社 Ruby アソシエーションでは、組織、体制、財政基盤がぜい弱であり、そのニーズに対し十分に答え切れていないなどの課題がありました。

こうした中で、一般財団法人 Ruby アソシエーション（以下、「当財団」と言う。）を設立することになりました。当財団の目的は、Ruby 関連のプロジェクトやコミュニティ、ビジネスの関係をより良好なものとし（「Ruby Eco System」の構築）、ビジネス分野における Ruby の利用に関する諸課題の解決に取り組むことです。

本書では当財団の 2011 年度の実施事業について報告します。

Ruby Eco System



2 財団設立

1) 名称

一般財団法人 Ruby アソシエーション

2) 設立登記日

2011年7月27日

3) 主たる事務所

島根県松江市朝日町 478-18 松江テルサ別館 2F

4) 設立者（出資者）

合同会社 Ruby アソシエーション（基本財産 300 万円）

3 体制

1) 評議員

設立時点では以下 12 名（五十音順）が評議員に就任しました。

- ・及川 喜之 (株)セールスフォース・ドットコム CTO
- ・大場 寧子 (株)万葉 代表取締役社長
- ・後藤 裕蔵 (株)ネットワーク応用通信研究所 取締役
- ・最首 英裕 (株)イーシー・ワン 代表取締役社長
- ・柴田 直樹 (株)まちづくり三鷹 常務取締役
- ・正村 勉 (株)日立ソリューションズ
技術開発本部 本部長 兼 Ruby センタ センタ長
- ・立久井 正和 (株)インターネットイニシアティブ
サービス本部 プラットフォームサービス部長
- ・羽田 昭裕 日本ユニシス(株) 総合技術研究所 所長
- ・平松 知江子 (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
生産革新技術センター長代理 兼 OSS ビジネス推進部長
- ・森 正弥 (株)楽天 執行役員 兼 楽天技術研究所 所長
- ・吉岡 宏 (株)テクノプロジェクト 代表取締役社長
- ・吉田 正敏 富士通(株) プラットフォーム技術本部 チーフストラテジスト

また、2012 年 3 月には、評議員選定委員会の承認を得た以下の者が新たに評議員に就任しました。

- ・中島 宏 (株)DTS IT インテグレーション事業本部 IT プラットフォーム部 部長

2) 理事、監事、顧問及び事務局

- ・代表理事 理事長 松本 行弘
- ・副理事長 前田 修吾
- ・理事 井上 浩
- ・監事 今岡 正一（公認会計士）
- ・顧問 松浦 正敬 松江市長、溝口 善兵衛 島根県知事
- ・事務局 2012 年 1 月より常勤スタッフ 1 名を採用しました。また、非常勤スタッフを活用するとともに、評議員輩出企業 3 社及び松江市、島根県による人的支援によって運営しました。

3) 評議員選定委員会

評議員選定委員会運営細則の定めるところにより、以下の 5 名が評議員選定委員に就任しました。

- ・委員長 立久井 正和（評議員）
- ・委員 今岡 正一（監事）、横田 早百合（事務局員）、
田代 秀一（外部委員）、高橋 征義（外部委員）

4 事業運営資金

2011 年度は、当財団の活動趣旨に賛同された企業 14 社に設立支援金を提供いただき、実施する事業の運営資金に充てました。

- ・設立支援金ご提供企業
 - ・株式会社テクノプロジェクト
 - ・株式会社セールスフォース・ドットコム
 - ・富士通株式会社

- ・株式会社インターネットイニシアティブ
- ・株式会社ネットワーク応用通信研究所
- ・株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
- ・株式会社山陰合同銀行
- ・株式会社日立ソリューションズ
- ・楽天株式会社
- ・株式会社 DTS
- ・株式会社まちづくり三鷹
- ・バブ日立ビジネス株式会社
- ・日本ユニシス株式会社
- ・株式会社万葉

5 その他、事業運営支援

1) 松江市：利用施設の整備・利用支援

当財団は主たる事務所を松江テルサ別館 2F に置いています。理事会や必要となる会議などでは、事務所に隣接する「松江市開発交流プラザ（通称：松江オープンソーラボ）」を利用しています。このプラザを管理する松江市からは、施設機能の向上のための改修実施や、当財団の施設利用への配慮など当財団の活動をご支援いただきました。

2) 島根県：情報発信事業での財政支援

当財団が実施しました情報発信事業のうち、基本計画の作成・公開、財団ホームページを活用した情報発信及びビジネスセミナーの開催において必要となった資金について、補助金の交付によりご支援いただきました。

6 実施事業

1) 公募型開発プロジェクト

Ruby 及び周辺環境の改善を目的に Ruby 処理系、ライブラリ及びフレームワークに関連する開発プロジェクト（既存のソフトウェアを改良するプロジェクトを含む）を公募し、グラント委員会の選定の結果、以下 2 件のプロジェクトを採択しました。

いずれも 2012 年 3 月 16 日までに開発を終え、現在はその成果を公開しています。

- ・公募期間：2011 年 10 月 25 日 ～ 11 月 18 日
- ・応募件数：16 件（日本国内 11 件、国外 5 件）
- ・採択件数：2 件（助成額はいずれも日本円で 500,000 円）

(1) 世界の誰でも読める Ruby リファレンスマニュアル（に向けて）

- ・実施者：応募者：原 悠 氏
- ・内容：本プロジェクトは、Ruby の標準ライブラリのドキュメントの翻訳をやりやすくすること及び日本語・英語・その他の言語のドキュメントを統合して表示することを目的としたものです。
- ・成果公開
デモ：<http://blazing-ice-2849.herokuapp.com/>
ソースコード：<https://github.com/yhara/prismdoc/>

(2) krypt

- ・実施者：Martin Boßlet 氏

- ・内容：本プロジェクトは、プラットフォーム及び利用ライブラリ非依存の Ruby 暗号 API を提供することを目的としたものです。C 言語に基づく Ruby 処理系群が恩恵を受けるだけでなく、JRuby 用の実装も対象に含まれます。
- ・成果公開
<https://github.com/emboss/krypt>
<https://github.com/emboss/krypt/blob/master/lib/krypt/x509/certificate.rb>
https://github.com/emboss/krypt/blob/master/spec/krypt-core/digest/digest_spec.rb

2) 情報発信事業

(1) 基本計画の作成及びその公開

当財団の情報発信事業の方針を明確にし、今後の事業進展の円滑化を目的に作成し、2011年10月に当財団ホームページなどで公開することで広く一般に本事業を周知しました。公開内容は以下のとおりです。

- 事業の目的
- 事業目標と長期ビジョン
- 実現のための具体的な方策
 - ◆当財団ホームページの活用
 - ・ビジネス支援（利用）情報
 - ・開発者向け技術情報
 - ◆ビジネスセミナーの開催
 - ◆国際会議（RubyWorld Conference）の開催

また、これら事業の実施時期を明示することで、その後の事業進捗の評価指標となりました。

<http://www.ruby.or.jp/ja/news/111003.html>

(2) 財団ホームページを活用した情報発信

①利用事例

Ruby をビジネス利用する約 40 の法人を対象に簡易ヒアリングを実施し、Ruby 利用のメリット、課題、利用技術などの情報提供も依頼しました。

このうち、11 法人から基本情報の提供があり、利用事例作成編集の担当スタッフが当該企業担当者に直接面談し、概要情報と詳細情報の作成を行いました。これらの情報は、利用時の背景事情、適用されたビジネス・システム分野やその特性など利用企業のみならずエンドユーザ（企業や個人の場合あり）の損益にも深く関わる場合があることから公開前に、利用企業等による内容確認を公開前に実施し（その際にエンドユーザに了解を得ることもあった）、関係者合意の上で財団ホームページ上に掲載しました。

2012年3月末時点で7件の利用事例を紹介しています。

これらの利用事例では、単に Ruby の利用企業にとってのメリット、課題だけではなく、そこで開発されたシステムを利用する企業の背景事情を踏まえながらメリット等を簡潔に伝えることで、Ruby 利用を検討する際の判断材料のひとつとなるよう工夫しています。

<以下、紹介事例>

- ・日立ソリューションズ：しまね海洋館アクアスでの導入事例
- ・システム工房エム：太陽電機製作所での導入事例
- ・小松電機産業の利用事例
- ・プロビズモ：出雲西高等学校での導入事例

- ・ BSC での利用事例
- ・ アドソル日進での利用事例
- ・ クラウドワークスでの利用事例

<http://www.ruby.or.jp/ja/showcase/>

②技術情報

Windows 環境下で Ruby を利用し開発を行う企業が多いと見込まれるが、その他の OS 環境下での技術情報に比べて十分でないことから、こうしたエンジニアを主要な情報提供先と捉えた技術情報の編集、発信に取り組みました。

2012 年 3 月末で提供した情報は以下のとおりです。

- ・ Ruby の基本情報
 - ・ Ruby 処理系の概要
 - ・ そのインストール手順
- ・ Web アプリケーション
 - ・ フレームワークの概要
 - ・ そのインストール手順
- ・ 開発環境

<http://www.ruby.or.jp/ja/tech/>

(3) ビジネスセミナーの開催

①東京でのビジネスセミナーの開催

2011 年 10 月 25 日、東京都品川区にてビジネスセミナーを開催し、IT 企業関係者を中心に 96 名の参加がありました。

このセミナーでは当財団のほか、評議員輩出企業である日立ソリューションズ及び富士通による Ruby の利用状況と今後のビジネストレンドについての話題を提供していただき、大手企業の Ruby に対する評価や、取り組み姿勢を多くの参加者に伝えることができました。講演後の質疑応答やセミナー後の意見交換の場など、Web 上ではない「リアルなビジネス交流」の機会を提供することができました。また、参加者にアンケートを実施し、情報発信事業に対する評価と当財団への要望などを把握し、今後の事業内容の検討に活用することが出来ました。

②そのほか、フォーラム開催の協力

中国地方での Ruby 利用の拡大に向けて、経済産業省中国経済産業局が主催する Ruby ビジネスフォーラムの企画を支援し、また、当日の講演者としても協力しました。こうした機会においても来場者にアンケートを実施し、情報発信事業に対する評価と当財団への要望など把握し、その後の事業検討に活用しました。

- ・ ちゅうごく地域 Ruby ビジネスフォーラム
 - 2012 年 1 月 27 日 山口開催
 - 2012 年 2 月 1 日 広島開催
 - 2012 年 2 月 13 日 岡山開催

(4) 国際会議 (RubyWorld Conference 2011) の開催

2011 年 9 月 5 日 (月)、6 日 (火)、島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」にて、3 回目となる「RubyWorld Conference 2011」を開催しました。主催は、RubyWorld Conference 開催実行委員会 (構成機関: 当財団、島根県、松江市、島根大学、松江高専、ジェトロ松江、しまね産業振興財団、島根県情報産業協会、しまね OSS 協議会、

経済産業省中国経済産業局)、共催は情報処理推進機構 (IPA) の他、多くの機関の後援、協賛をいただき開催しました。

今回の国際会議では、Ruby に関するビジネス利用事例や、最新技術の情報、言語仕様の標準化の動向などを紹介する様々なセッションを通じて、Ruby がより多くの領域に普及していくことを目指し、国内外 28 名が講演し、来場者数は 2 日間で延べ 929 名 (詳しくは下記を参照) を数えました。

基調講演では、当財団の松本理事長 (RubyWorld Conference 開催実行委員会委員長) が「エンタープライズ Ruby ~新たな段階へ~」と題して講演し、また VMware Inc. の CTO である Derek Collison 氏に「Cloud Foundry: Why Ruby, and will it last?」題して講演していただきました。また、2 日目の基調講演では、株式会社セールスフォース・ドットコム (Salesforce) の CTO である及川喜之氏 (当財団の評議員) に「Heroku - 多言語化するアプリケーションの為にプラットフォームの紹介」と題して、同社が展開するクラウドビジネスにおける Ruby に関するサービスについて講演していただきました。

初日の午後は、IPA の提供により国際標準化に関する講演が行われ、国際標準化のこれまでの取り組みや、今後の方向性についての話題を提供していただきました。その他、国内外の Ruby の技術者、企業、研究者が講演し、Ruby の更なる普及・発展に向けて活発に議論がなされました。

- ・来場者数：2 日間延べ 929 名 (9 月 5 日 505 名、9 月 6 日 424 名)
 - 来場実数 551 名 (県内 350 名、県外 195 名、海外 6 名)
 - ・ IT 企業関係者 285 名 (県内 153 名、県外 132 名)
 - ・ その他企業関係者 82 名 (県内 68 名、県外 14 名)
 - ・ 行政関係者 62 名 (県内 47 名、県外 15 名)
 - ・ 研究教育機関関係者 55 名 (県内 46 名、県外 9 名)
 - ・ 一般 (所属なし) 37 名 (県内 29 名、県外 8 名)
 - ・ 講演者 28 名 (県内 7 名、県外 17 名、海外 4 名)
- ・ 講演者属性：
 - ・ 国内 24 名 (企業関係者 13 名、教育研究機関 6 名、行政機関 5 名)
 - ・ 海外 4 名 (アメリカ 3 名：企業関係者 2 名、政府機関 1 名、ガンビア 1 名：国際教育機関)

7 協賛会員制度の検討と募集開始

2012 年度以降のさらなる事業活動の充実を図るため、Ruby の普及・発展のための事業に賛同し、支援いただける協賛会員を 2012 年 1 月より募集開始しました。

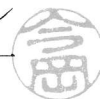
- ・ 会員資格
法人、任意団体及び個人
- ・ 会員種別、会費
年会費 1 口 10 万円 (4 月を開始月とします)
 - ① Platinum Sponsor 5 口以上 (50 万円以上)
 - ② Gold Sponsor 2 口以上 (20 万円以上)
 - ③ Silver Sponsor 1 口以上 (10 万円以上)

監査報告書

一般財団法人 Ruby アソシエーション
理事長 松本 行弘 殿

平成 24 年 5 月 31 日

一般財団法人 Ruby アソシエーション
監 事 今 岡 正 一



私は、平成 23 年 7 月 27 日から平成 24 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

1) 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

2012年度 一般財団法人Rubyアソシエーション 補正予算書 2012.6.27 単位:千円

	平成24年度 当初予算	平成24年度 補正予算	補正-当初
1 売上高			
1)Ruby技術者認定試験	0	0	0
2)事業者認定事業	1,250	1,770	520
3)その他事業収入	913	971	58
小計	2,163	2,741	578
2 特別利益(協賛金、寄附金)			
1)協賛会員	7,700	9,900	2,200
2)寄附金	4,000	4,110	110
小計	11,700	14,010	2,310
3 売上原価			
1)Ruby技術者認定試験		0	0
2)事業者認定事業	425	190	-235
3)その他		0	0
小計	425	190	-235
4 その他、事業費用			
1)公募型開発プロジェクト	1,000	1,000	0
2)Ruby安定版の保守業務委託	0	1,890	1,890
2)Web活用(情報発信事業)	1,500	1,500	0
3)RubyWorld Conference開催	500	500	0
4)ビジネスセミナー開催	600	600	0
小計	3,600	5,490	1,890
5 役員報酬			
小計	1,200	1,200	0
6 販売費及び一般管理費			
1)職員人件費	4,308	4,308	0
2)事務所賃借料	120	108	-12
3)駐車場賃借料	72	72	0
4)旅費交通費(出張費、通勤費)	700	700	0
5)通信運搬費(電話代、郵便代)	120	120	0
6)消耗品費(事務用品他)	240	240	0
7)会議費	45	45	0
8)会場費	150	150	0
9)租税公課(固定資産税、印紙代)	100	100	0
10)手数料	60	60	0
11)委託費	0	1,000	1,000
12)諸会費	0	3	3
13)雑費	120	1,500	1,380
小計	6,035	8,406	2,371
7 総収入	13,863	16,751	2,888
8 総支出	11,263	15,286	4,023
9 税引前当期純利益	2,600	1,465	-1,135
10 法人税、住民税及び事業税	400	400	0
11 当期純利益	2,200	1,065	-1,135
12 利益剰余金	2,390	4,061	1,671
※協賛会員数			
Platinum Sponsor (50万円)	7	9	2
Gold Sponsor (20万円)	12	14	2
Silver Sponsor (10万円)	18	26	8

【参考】

平成25年度に今期と同様の収入規模を確保するために必要となる協賛会員数(特別利益を同額水準とする)

対今期増加数

Platinum Sponsor (50万円)	14	5
Gold Sponsor (20万円)	22	8
Silver Sponsor (10万円)	42	16

Ruby アソシエーション 2012 年度助成事業案

2012 年 6 月 27 日

一般財団法人 Ruby アソシエーション

目的

Ruby 及び周辺のライブラリ・フレームワークの拡充と、人材の育成を目的とする。

概要

Ruby 及び周辺のライブラリ・フレームワークの開発プロジェクトを公募し、開発費用の助成を行う。

応募資格

任意の個人及び団体

テーマ

テーマについては、応募者の自由とする。ただし、特定目的のアプリケーションは助成対象外とする。

助成額

予算（全採択プロジェクトで合計 100 万円）の範囲内で提案者の希望する額を助成する。ただし、より多くのプロジェクトを採択するため希望額から減額した方がよいと助成委員会が判断した場合、応募者との調整の上減額することがある。

選考プロセス

助成委員会が提案内容を評価し、上記予算の範囲内で可能な限り多くのプロジェクトを採択する。

選考基準

プロジェクトの選定は、以下の基準に基づいて行う（順不同）。

- Ruby 及び周辺環境の生産性及び性能に対する効果
- プロジェクトの独創性及び創造性
- プロジェクトの実現可能性

評価

採択された応募者には中間報告書と最終報告書の提出を求め、助成委員会が報告書の評価する。

成果物の著作権とライセンス

採択された応募者が成果物のすべての権利を保持する。ただし、成果物は OSI 承認ライセンスで公開されなければならない。また、既存のソフトウェアを改良する場合、成果物のライセンスは元のソフトウェアのライセンスと互換性のあるものでなければならない。

スケジュール

2012/7/17	応募開始
2012/8/20	応募〆切
2012/9/3	採択通知
2012/10/22	中間報告
2012/12/11	最終報告

Ruby アソシエーション Ruby 安定版保守委託事業案

2012 年 6 月 27 日

一般財団法人 Ruby アソシエーション

目的

Ruby 安定版の保守を委託し、安定した保守体制を実現することにより、ユーザが安心して Ruby を利用できる環境を構築する。

委託内容

- Ruby の不具合に対する修正を選別し、互換性の確保に配慮した上で Ruby 1.9.3 へのマージを行うこと。
- 各開発者とスケジュールなどを調整した上で Ruby 1.9.3 のリリース作業（Ruby 公式 Web サイトやメーリングリストでのアナウンスを含む）を行うこと。
- Ruby の脆弱性報告に対して、報告者や各開発者との調整を行い、必要に応じて Ruby 1.9.3 の緊急リリースもしくは Ruby 1.9.3 用パッチの提供を行うこと。

委託期間

2012 年 10 月 1 日～2013 年 3 月 31 日

予定価格

180 万円（税抜）

委託先選定方法

一般公募による提案競技を行い、委員会（メンバー未定）による協議により委託先を選定する。

委託先選定基準

- C 言語の開発技術・経験
- Ruby 本体の開発技術・経験
- Ruby 開発者との調整能力（英語によるコミュニケーションを含む）

Ruby アソシエーション事業認定制度案

2012年6月27日

一般財団法人 Ruby アソシエーション

1. クラウド事業者認定制度

目的

Ruby アプリケーションの運用に適したクラウドサービス (IaaS・PaaS) 事業者を認定し、Ruby アプリケーションの安定した運用環境を求めるユーザに対して Ruby アソシエーション公式サイトで紹介することにより、クラウドにおける Ruby の普及を促進する。

名称

Ruby Association Certified Cloud Service Provider

種別

Silver / Gold

登録料

5万円/年

登録条件

- Ruby Association Certified Ruby Programmer 資格保持者 (Cloud Service Provider Gold の場合、Ruby Programmer Gold 資格保持者)が 2 名以上所属していること。
- ユーザが登録したアプリケーションを ISO/IEC 30170 に適合する処理系上で動作させることができるようなサービスを提供していること。

2. 教育機関認定制度

目的

Ruby の教育を行う教育機関を認定し、Ruby 学習者向けに Ruby アソシエーション公式サイトで紹介することにより、Ruby 技術者数の拡大と Ruby 技術者のスキル向上を促進する。

名称

Ruby Association Certified Educational Institution

種別

Silver / Gold

登録料

5万円/年

登録条件

- Ruby Association Certified Ruby Programmer 資格保持者 (Educational Institution Gold の場合、Ruby Programmer Gold 資格保持者)が 2 名以上所属していること。

- 教材として「Ruby 公式資格教科書 Ruby 技術者認定試験 Silver/Gold 対応」を採用するか、同程度の内容をカリキュラムに盛り込み、年間 2 回以上講習会などの教育を実施すること。
- Ruby 技術者認定試験のプロモーションに協力すること。

3. サポート事業者認定制度

目的

Ruby のサポートサービスを提供する事業者を認定し、Ruby アプリケーションの開発・運用を行うユーザ向けに Ruby アソシエーション公式サイトで紹介することにより、ユーザが Ruby をより安心して利用できるようになることを目指す。

名称

Ruby Association Certified Support Provider

種別

Silver/Gold

登録料

5 万円/年

登録条件

- Ruby Association Certified Ruby Programmer 資格保持者（Support Provider Gold の場合、Ruby Programmer Gold 資格保持者）が 2 名以上所属していること。
- Ruby のサポートサービスを提供していること。

Ruby ビジネスセミナーの開催について

- 1 目的 : Ruby のビジネス利用の現状と可能性を示すことで、更なるビジネス利用の拡大を目指す

- 2 東京での開催
 - 1) 開催日 : 2012年10月3日(水) 14:00 ~ 16:50
 - 2) テーマ : Ruby×クラウドで成長する自社ビジネス
 - 3) 会場 : IIJ 本社 カンファレンスルーム
※東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング
 - 4) 参加受付 : 事前申込制 7月中~下旬より RA サイトで受付開始
 - 5) 参加定員数 : 150名 ※要会場キャパ確認
 - 6) 参加費 : 無料 ※但し、交流会は有料
 - 7) 開催の座組み : 主催 Ruby アソシエーション 開催協力 IIJ
 - 8) 構成 (現在の企画段階) :
 - 14:00~14:05 開会挨拶 前田副理事長
 - 14:10~14:55 講演1 まつもと理事長
 - 14:55~15:25 講演2 IIJ ※Ruby プラットフォームサービスの紹介
(15:25~15:40 休憩)
 - 15:45~16:15 講演3 株式会社 三三 ※クラウド利用したサービス事例、特に Ruby・クラウドの利点
 - 16:15~16:45 講演4 クラウドワークス ※同上
 - 16:45~16:50 閉会挨拶 立久井評議員 (開催協力企業)
 - 9) 交流会の開催 : ビジネスセミナー開催後に IIJ の別カンファレンスルームを利用し、立食スタイルの簡易な交流会を開催する。
 - ・参加費 : 2千円 / 一人 ※無料特典はなし
 - ・スケジュール 開始 17:15 ~ 終了 19:00

- 3 その他の開催 : 東京のほか、大阪、福岡での開催を検討中 (内容も検討中)

- 4 協賛企業等から寄せられている希望テーマ
 - Facebook はじめソーシャルビジネスでの Ruby の可能性
 - Ruby 人材、教育
 - Ruby 利用のビジネススキーム
 - クラウド、プラットフォーム
 - エンタープライズの現状、可能性
 - 業務システム採用に向けての実例紹介 : 性能値も実データとして示して公開希望